

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市太白区文化センター	
2 指定管理者	公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》 37,693人（前年度比 28.5%）</p> <p>※臨時休館 令和2年4月11日～5月31日</p> <p>※新規利用受付中止（ホール）令和2年3月5日～6月4日 （諸室）令和2年3月5日～5月15日</p> <p>令和元年度 132,273人 平成30年度 142,489人 平成29年度 154,742人</p>	
	<p>《事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太白区文化センターの運営管理 （太白図書館、太白区中央市民センター、長町児童館の施設管理含む） ・自主事業の開催 地元拠点活動団体と共催の体験型事業「楽楽文化祭2021」 ・地域の文化団体との連携や活動への支援 	
5 収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者に支払った費用 192,965千円 (196,332千円) ・その他市が負担した費用 99,445千円 (111,093千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料収入 12,999千円 (29,274千円) ・その他収入 3,957千円 (6,461千円) 	
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご意見箱」の常設 回答は1階ロビーに掲示 ・利用者アンケート 実施期間：令和3年3月1日～3月14日 回答数：151（団体・個人）。アンケート結果については、財団ホームページにおいて公表。 	

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	鑑賞事業やワークショップ事業及び住民参加型事業などに加え、今後、劇場やホールに求められる事業として「地域貢献型・社会包括型事業」に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の対策を実施しながら、自主事業を通して、地域団体との連携や自主的な活動への支援を超えた地域貢献を果たしている。	27/24
II 施設の運営管理体制	職員が日常、定期的に館内を巡回し事故等を未然に防止するよう努め、度重なる地震に対しても、配備体制に基づき迅速な対応を行った。施設内の不具合箇所を発見した際は防災センターと連携し、速やかに改善作業を実施している。また、併設施設と合同で消防訓練を実施することにより、緊急時の避難誘導に係る連携体制の強化に努めている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	併設施設と協力してごみの減量化に努めるとともに、業者を通して廃プラスチックや古紙のリサイクル処理を行い、ごみの再生利用の推進に努めている。また、昼間の時間帯には、事務室の受付カウンター部分を除いたエリアを消灯し節電にも努めている。	21/21
IV サービスの質の向上	総合受付カウンターに案内担当を配置し、併設施設を含めた複合施設全体の利用者への案内・相談を実施している。令和2年度はYouTubeに動画を投稿し、施設の紹介やイベントの紹介について、よりわかりやすく情報発信を行った。	28/28

V 施設固有の基準	これまでの施設管理の経験を活かしながら管理規約や関連法令等を把握し、たいはっくる管理組合や併設施設との連絡調整に努めている。また、併設施設の協力を得て、新型コロナウイルス感染症の対策を十分に実施しながら「楽楽楽文化祭2021」を開催し地域を盛り上げた。	7/7
------------------	--	-----

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>〔施設の使用許可等について〕</p> <p>条例などの規定を遵守するとともに、市民利用施設予約システムの適正な運用に努め、施設の使用許可にあたっては公平・公正な取り扱いを行いました。新型コロナウイルス禍においては、ホール施設のイベント減免が導入されましたが、還付処理など適正に収納事務を行い、使用料については、特に厳重な取り扱いを行いました。</p> <p>〔施設の維持管理等について〕</p> <p>お客様に安全かつ快適にご利用いただけるように、日頃から施設の見回りや設備の点検を行い、危険個所の早期発見に努め、不備がある場合は速やかな修繕を行い事故等の未然防止に努めました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による長期休館があったため、ピアノの調律を定期点検より前倒して行う等、設備のメンテナンスについて柔軟に対応しました。また、舞台設備として重要性の高い舞台映像カメラをデジタル化し、利用者の利便性を図りました。避難口誘導灯交換や空調設備分解洗浄、1階男子トイレの洋式便器交換に加え、地震により破損した調理実習室窓ガラス等、故障個所を迅速に点検修繕しました。施工にあたっては、仙台市、工業者との連絡調整を綿密に行い、施設を利用するお客様への影響が最小限になるよう努めました。</p> <p>〔自主事業の実施について〕</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主事業の中止が相次ぎましたが、令和3年1月に、太白区を拠点として活動している団体等と協力し、規模を縮小して「楽楽楽文化祭2021」を開催しました。地域住民に限らず障害者や乳幼児親子など幅広いお客様に、気軽に多様な文化芸術を体感していただくことを目的に、体験ワークショップ「アートで楽楽楽」「マルシェ」を実施しました。会場として、展示ホールの他、たいはっくるのオープンプラザを使用し、地域拠点となる文化施設として多くの市民に親しんでいただきました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p><施設の運営管理について></p> <p>当施設は、図書館や中央市民センター、児童館のほか商業施設や高層住宅棟が一体となっている本市唯一の複合施設であり、管理方法が複雑であるほか部屋数及び利用者数が多い。職員会議等において各担当の業務状況や窓口対応状況を互いに共有したり、事故防止策に関する研修を実施、受講したりするなど、適切な運営管理に努めている。</p> <p><施設の維持管理・安全管理について></p> <p>業者による見回りや定期点検の他に、職員が日常的な目視点検を実施しており、不具合の早期発見による施設の維持管理に努めている。</p> <p><主催事業について></p> <p>鑑賞事業やワークショップ事業及び住民参加型事業などに加え、「地域貢献型・社会包括型事業」に取り組んでいる。太白区を拠点として活動している団体等と協力し、地域住民のみならず障害者や乳幼児親子など誰もが気軽に多様な文化芸術に親しんで体感することを目的とした自主事業「楽楽楽文化祭2021」を新型コロナウイルス感染症の対策を十分に実施しながら開催した。</p> <p><併設施設との連携について></p> <p>当施設は公共・商業・住宅が一体となった本市唯一の大規模な複合施設であるため、建物に共用設備（受変電や給排水等）が多く含まれている。共有部分や公共施設部分で発生する様々な設備・運営管理に関する問題を「たいはっくる管理組合」と情報共有し、問題解決に向け日常的に協議し、改善に向けた取組を行っている。</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">S</p>

四 その他特記事項

(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

特記事項
<p>新型コロナウイルス感染症の対応にあたっては、「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う仙台市の事業及び施設等の取り扱いに係るガイドライン」の計15回の改訂に沿って、1年間で1,145件（文化センター：653件、市民センター492件）の利用取消処理及びこれに付随する入金済使用料の還付処理を行うとともに、ホール使用料減免の取り扱いにあたっては、648件の処理を適切に行った。</p> <p>また、緊急事態宣言発令時には、予約者に対し個別に利用自粛の依頼に係る連絡をし、利用受付再開時には、大量の予約を公平に受付できるように抽選の準備や職員体制を事前に整える等、工夫し対応した。</p> <p>さらに、施設利用者用に消毒液を常時用意する他、サーマルカメラの設置や小型体温計の貸出を行ったことに加え、職員は、毎日体温を計測し、応援勤務体制を整備する等不測の事態に備えた。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：太白区まちづくり推進部まちづくり推進課